

日本刺絡学会 第32回学術大会

一般演題募集要項

下記の要領で、一般演題を募集いたします。日頃の研究・臨床の成果を積極的にご発表下さい。多くの方の応募をお待ちしております。応募の仕方、抄録の書き方、発表方法などについての質問などございましたら、学術部(下記)までご相談下さい。

[会期]令和6年(2024年)9月29日(日)

[会場]タワーホール船堀

【応募資格】

演者および共同演者は、日本刺絡学会会員(令和5年度年会費納入済みの会員)に限ります。応募は会員1名につき1題とします。ただし共同研究者はこの限りではありません。

【発表方法・募集数・発表時間】

口演形式の発表を6題を募集いたします。発表時間は8分、質疑応答が2分、合計10分です。

【募集期間】

令和6年4月1日～6月15日(当日必着)です。締切日をすぎたものは受理いたしません。

【応募方法】

応募には、抄録と演題申込書が必要です。事故防止のため、必ず①の印刷したものと②のデータファイルの両方を送ってください。

① 印刷(あるいは手書き)したもの各3部を下記住所まで郵送してください。

② データファイルを下記アドレスまでメールに添付して送ってください。

【演題採否】

演題の採否および発表形式は査読を経た上で決定し、令和6年6月末までに通知いたします。なお、抄録内容によっては、書き直しをお願いすることもあります。また、内容不備の場合は不採用となることもあります。

【著作権について】

抄録の著作権は、学会に移譲していただきます。

【問い合わせ・送り先】

日本刺絡学会学術部抄録係

第32回学術大会事務局

印刷文書 〒305-0043

茨城県つくば市大角豆 2012-43(小池栄治 方)

データファイル infomail@shirakugakkai.com

【抄録作成要項】

- ①すべて横書きとし、手書きの楷書ないしはワープロなどでお書き下さい。
- ②共同演者がある場合は、発表者を最初に記載し上に○をつけてください。
- ③文字数は、1400字以内とします。写真、図表、注釈は掲載できません。
- ④使用する文字は unicode までとし、外字はなるべく使用しないでください。外字を使用した場合は、印刷した原稿の欄外に赤字で書いておいてください。
- ⑤【目的】【方法】【結果】【考察】に分けて記載してください。ただし、症例報告の場合は【方法】を【症例】にしてください。

【目的】 研究目的を簡明に書いて下さい。

【方法】 対象や研究方法について記載して下さい。対象については必ず人数あるいは匹数を記載して下さい。症例報告の場合は、【症例】として下さい。その中で細目として現病歴、現症、既往歴、治療方法、評価法など項目別に記載して下さい。）

【結果】結果は必ず記載して下さい。（結果と考察を合わせて記載することは可能です。その場合は、【結果と考察】として下さい。）

【考察】結果に対する考察を書いて下さい。

【パワーポイントによるプレゼンテーション】

- ① スライドは MS Power Point for Windows【マイクロソフト・パワーポイント・ウインドウズ版】で作成されたものを、パソコン接続のプロジェクターで映写します。（Macintosh 版「パワーポイント」、スライドフィルム形式での発表は受けません）
- ② スライドに枚数の制限はありませんが、発表時間を厳守して下さい。最後に日本語で箇条書きにした「結語」のスライドを1枚含めてください。同じスライドを2度以上使用される時は別々にご用意下さい。
- ③ 「パワーポイント」で作成したデータファイルを CD-ROM で郵送していただくか、メール添付で、令和6年9月19日(木)までにお送りください。
- ④ 発表に使うパソコンは事務局で用意いたします。個人のパソコンを持ち込み使用することはできません。
- ⑤ パソコンの操作は演者自身で行っていただきます。なお、パソコン操作ができない方あるいは不安な方には補助をつけますので、郵送の際にその旨の手紙を入れてください。
- ⑥ データの入ったメディアには必ず、演題名・氏名・所属を明記し、ファイル名を発表者のフルネームで保存して下さい。なお、不測の事態に備え発表当日には、予備のデータメディアを必ずご持参ください。
- ⑦ データの入ったメディアは返却致しません。各自、提出前にコピーを取り、保存しておいてください。
- ⑧ データは大会終了後、担当者が速やかに消去いたします。